

みんな

平成15年一部改訂版

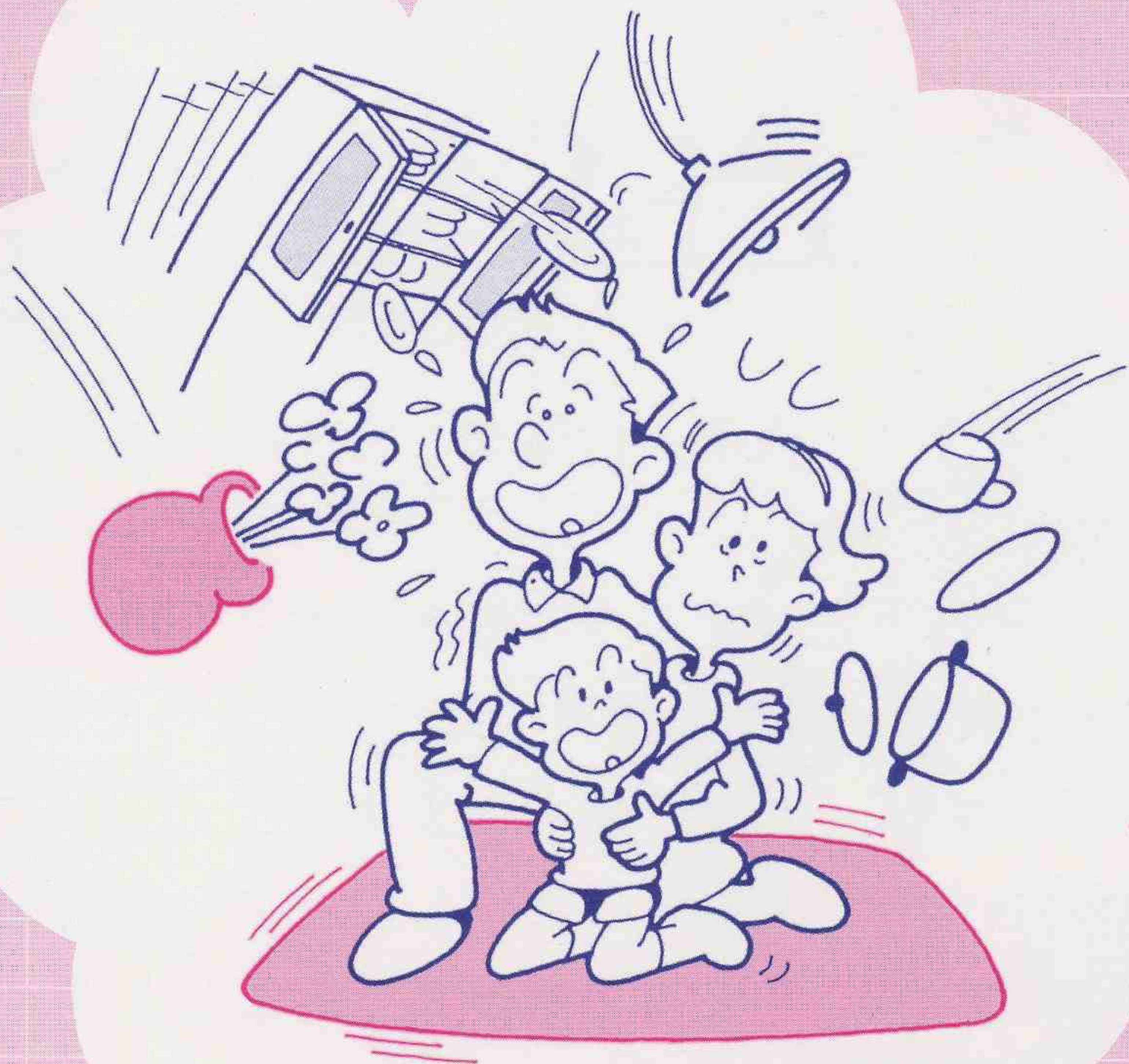
考えよう

地震

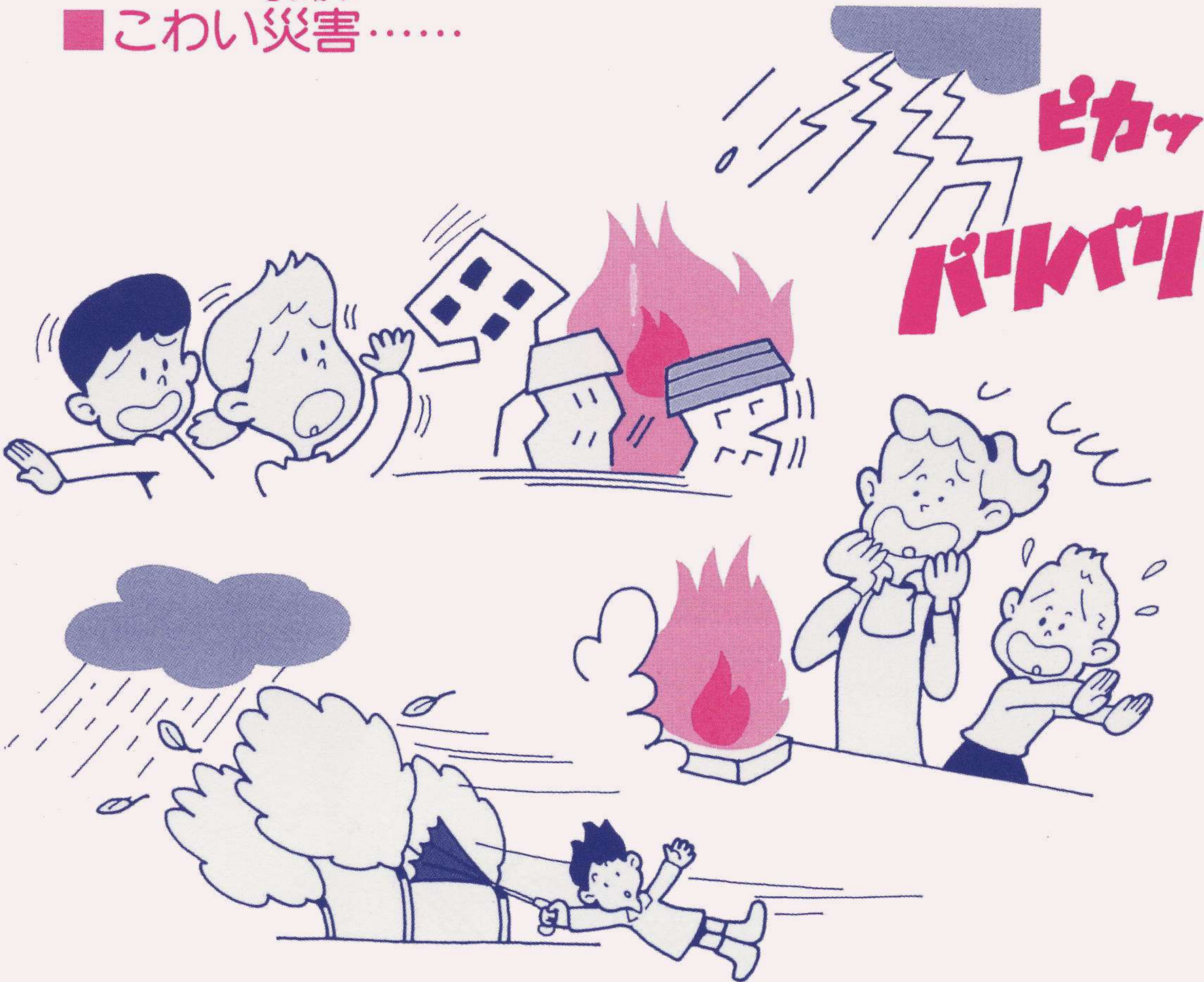
かみなり

火事

台風



さいがい
■ 怖い災害……



じしん
地震・かみなり・火事・台風など災害は、おそろしい
さいがい
ものです。

とくに地震は、とつぜんやって来ます。

はんしん あわじ だいしん さい
平成7年の阪神・淡路大震災では、亡くなったり

おおけが
大怪我をした人々がたくさんいます。

さいがい たいへん
災害がおきてさあ大変！ どうしたらよいのか！

という時のためにみんなで勉強してみましよう。

1. 地震

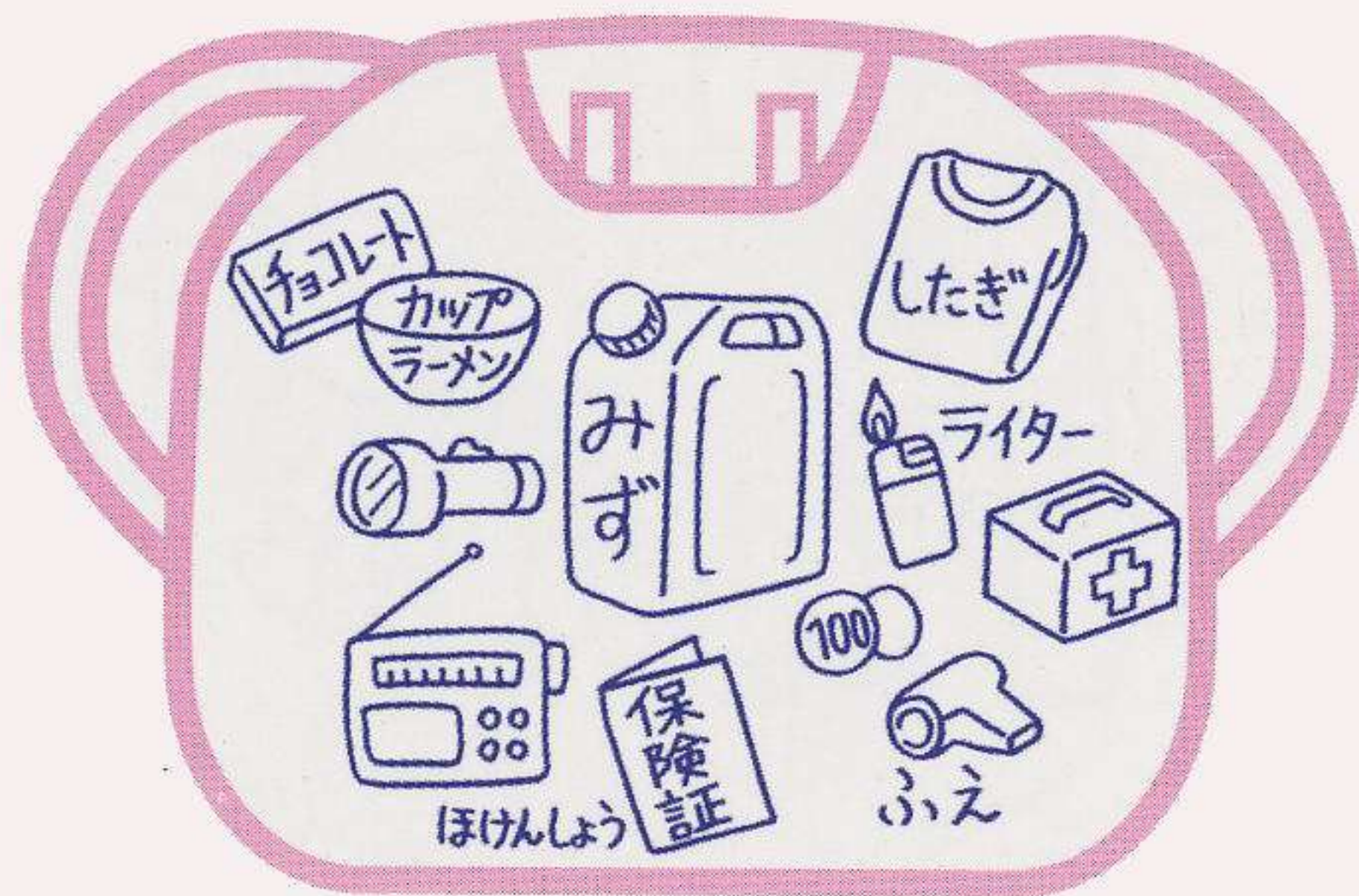
■地震の時に役立てよう

●地震の事をみんなで話し合おう

地震が起きた時、どうすればよいかを家族みんなで話し合おう。

1. どこににげるとよいのか
2. 何を持ってにげたらよいのか
3. 家族とのれんらくの方ほうは？
4. だれが何をすればよいのか

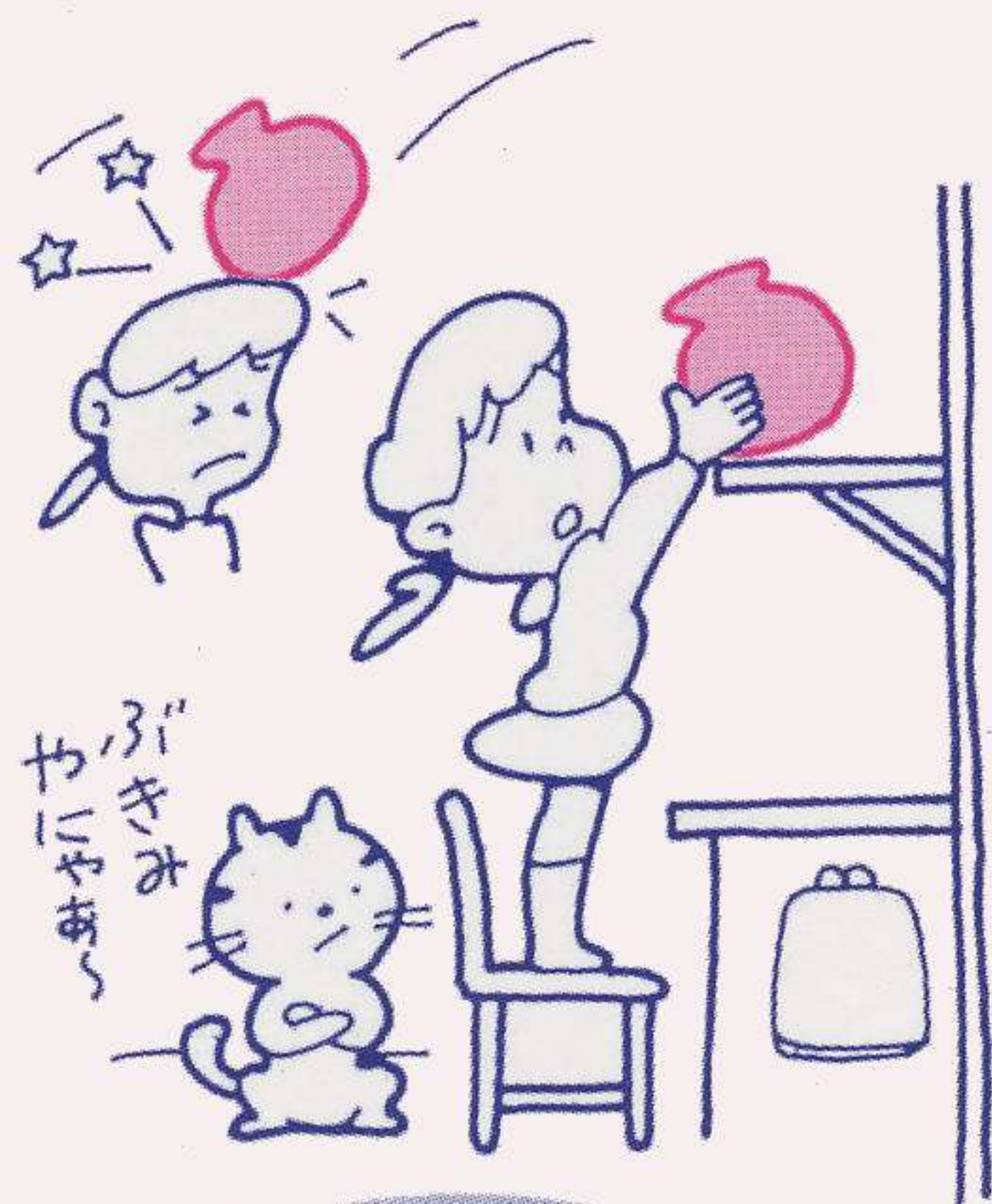
いつも用意しておくもの



●家の中は安全かどうかたしかめよう

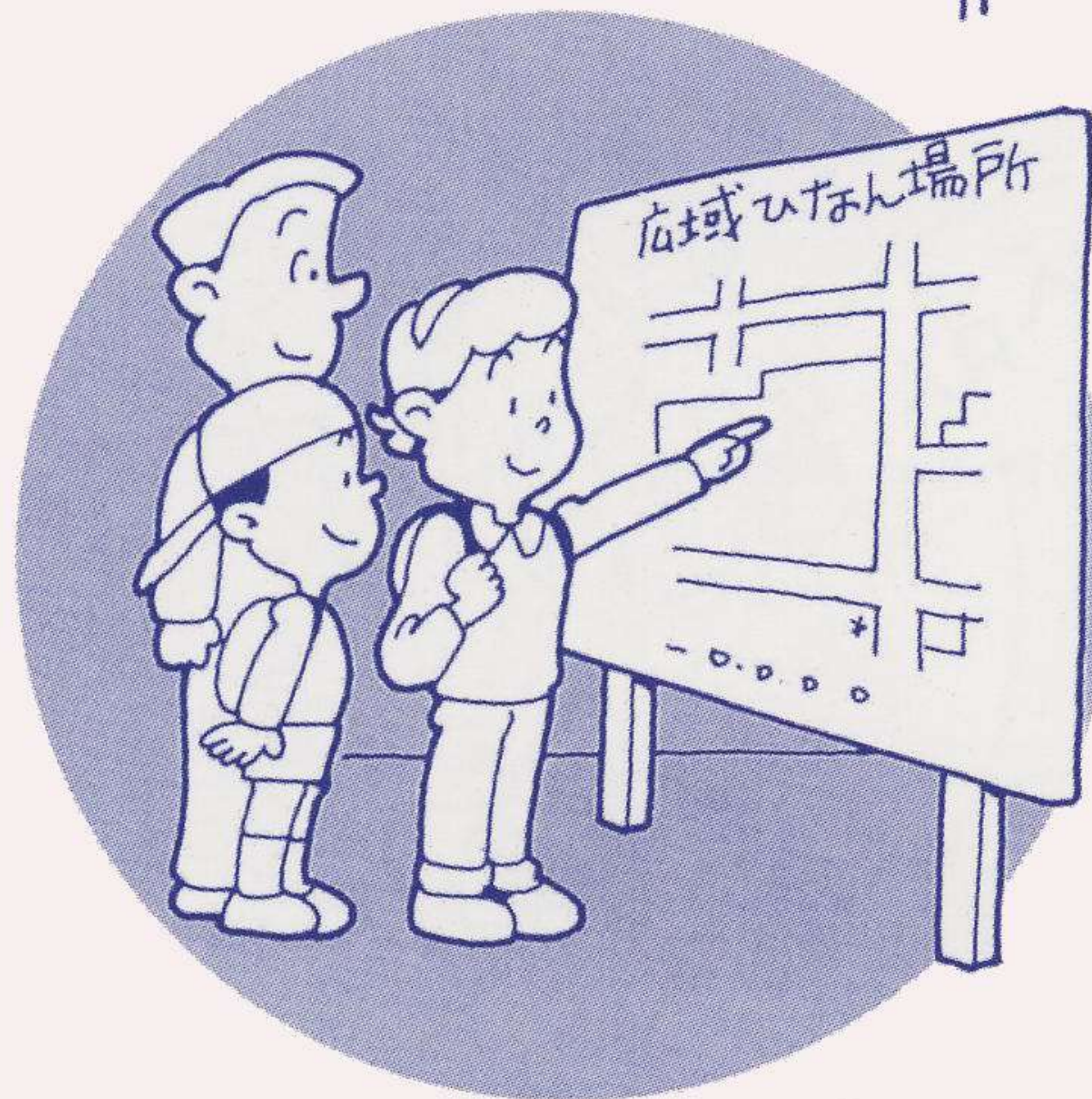
落ちたり、たおれたりするとあぶない重たい物・とがった物は、

1. おき場所をかえよう
2. テレビやタンス・本ばこがたおれないくふうをしよう



●にげるコースをたしかめておこう

家族や近所の人たちとまとまってひなんしよう。「広域ひなん場所」^{こういき}と「ひなん路」をたしかめて、家族みんなで、そのコースを歩いてみよう。



■地震が起きた時はこうしよう



●グラリ! まず身を守ろう

ゆれが始まったら、すばやく机やテーブルの下にもぐったり、頭に物が当たらないように、しっかり身を守ろう。



●使っている火を消そう

地震の時、一番こわいのは火事。火のそばにいて、グラリときたら、消せる火は、できるだけ早く消そう。やけどしそうな時は、無理をしない。



●あわてて外にとびださない

家の中も外もきけんがいっぱい。けがをしないようにして、にげよう。けがをしやすいのは、頭と足のうら。

●外にいる時はどうする

外にいる時に地震が来たら、

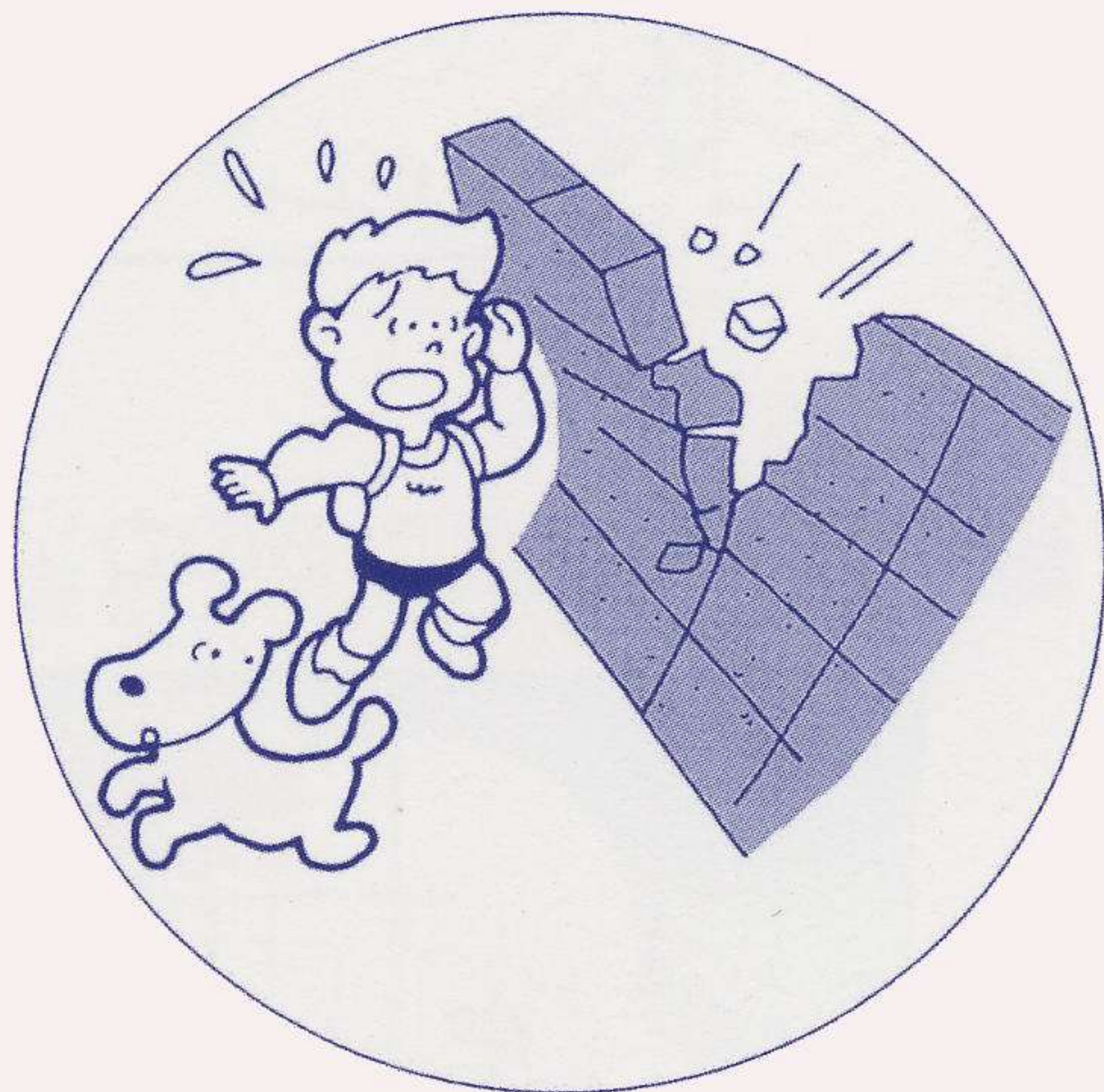
1. 公園などの広場ににげよう
2. ガラスやかわらが

落ちてくるきけんのある時は、
手に持っている物を頭に乗せ、
頭を守ろう



●ブロックベいなどには近づかない

へい・かん板・自動はんばいき・
とりい・とうろうは、たおれてくる
きけんがある。下じきにならない
よう、気をつけよう。



●自分勝手に動かない。

家族や先生の言うことを聞こう。

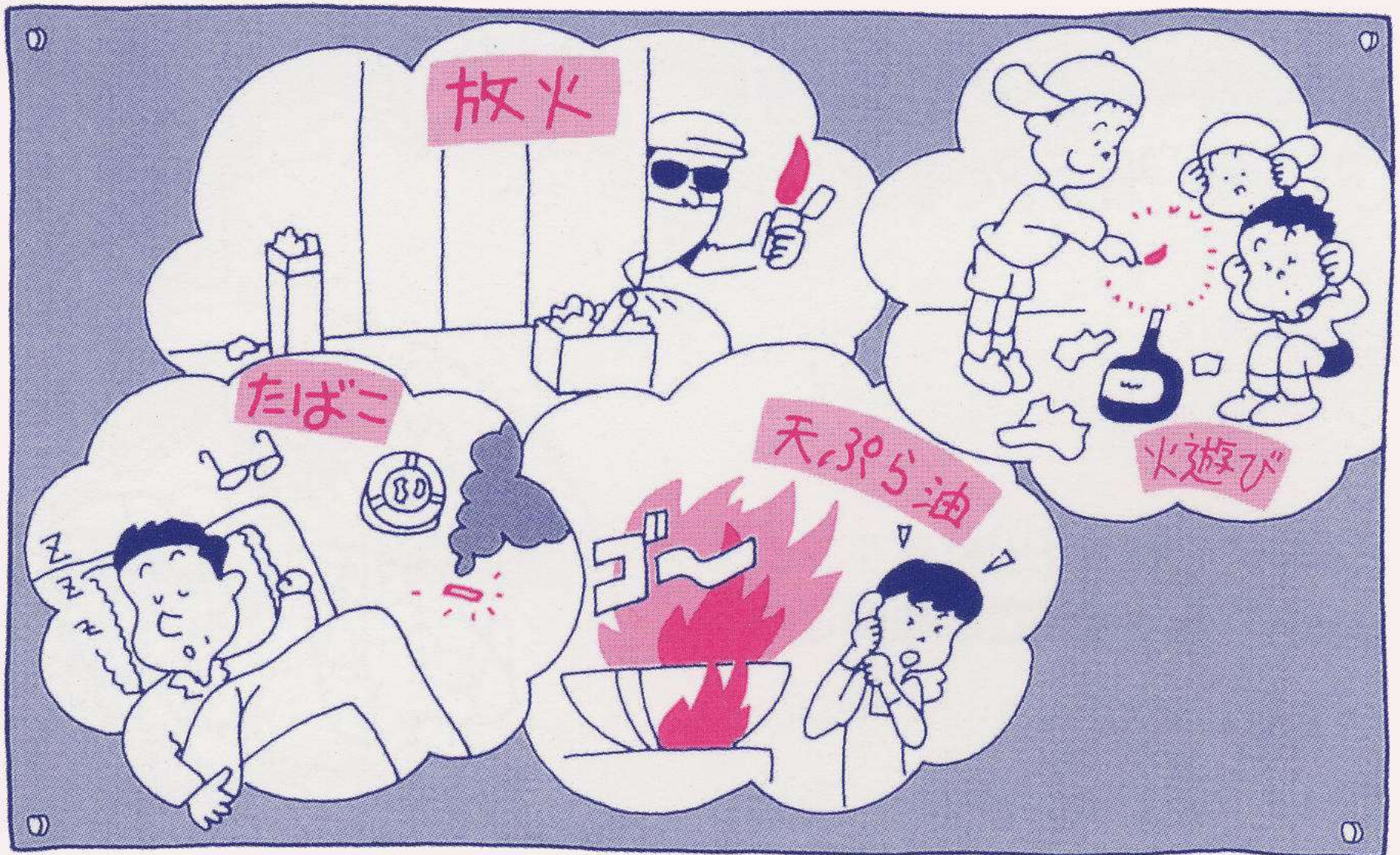
- みんなで協力きょうりよくして歩いて
ひなんしよう。



2. 火事

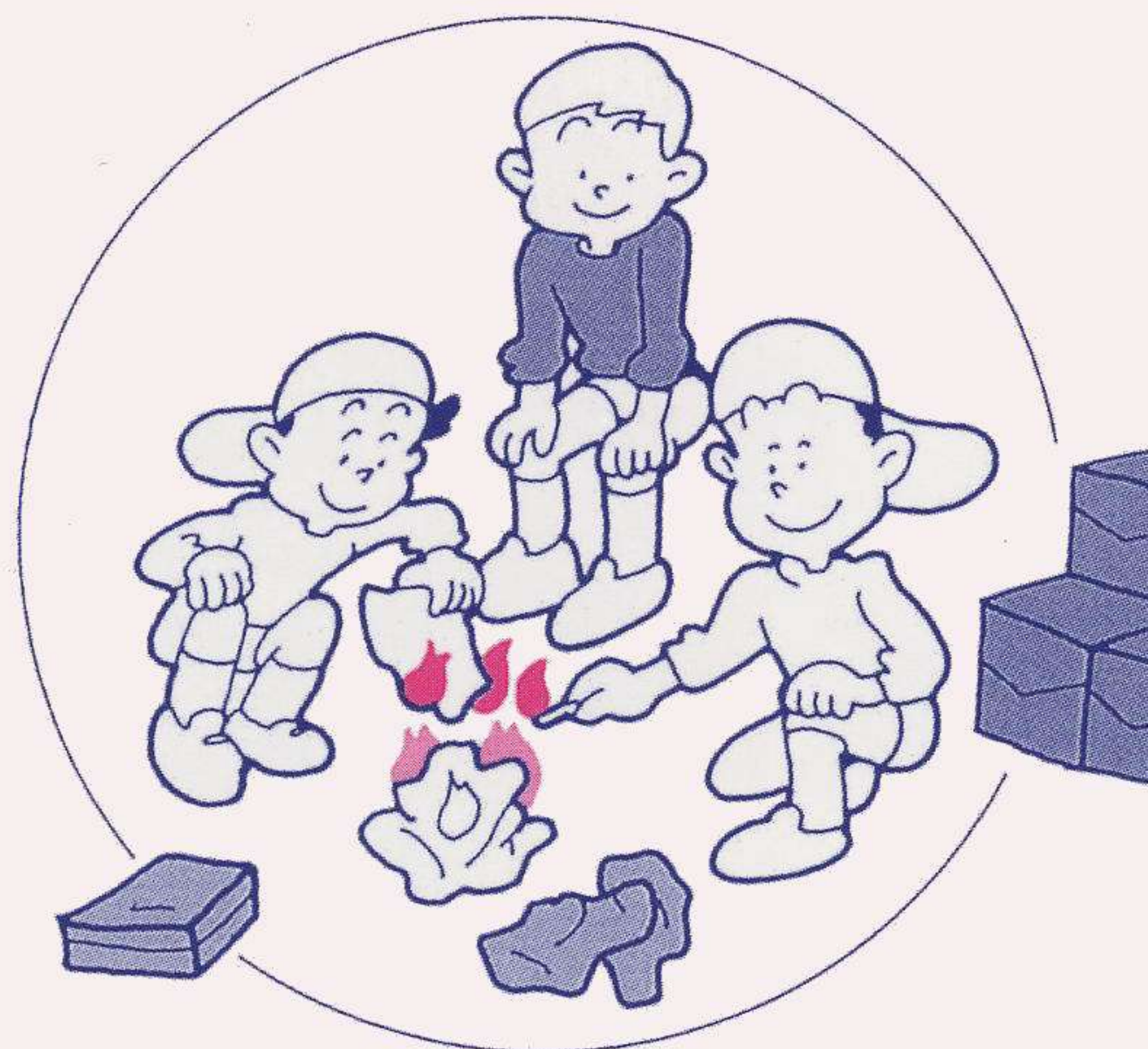


■ 火事はなぜ起こるのか？



■火事にならないように気をつけること

1. 家のまわりにダンボールやあきばこなど、もえやすい物をおかない。
2. マッチ・ライターで火遊びは、ぜったいしない。
3. ストープの近くに、もえやすい物をおかない。ストープのまわりで、あばれない。
4. ^ね寝たばこはしないように、注意してあげよう。
5. 天ぷらをあげている時は、その場をはなれないように、注意してあげよう。

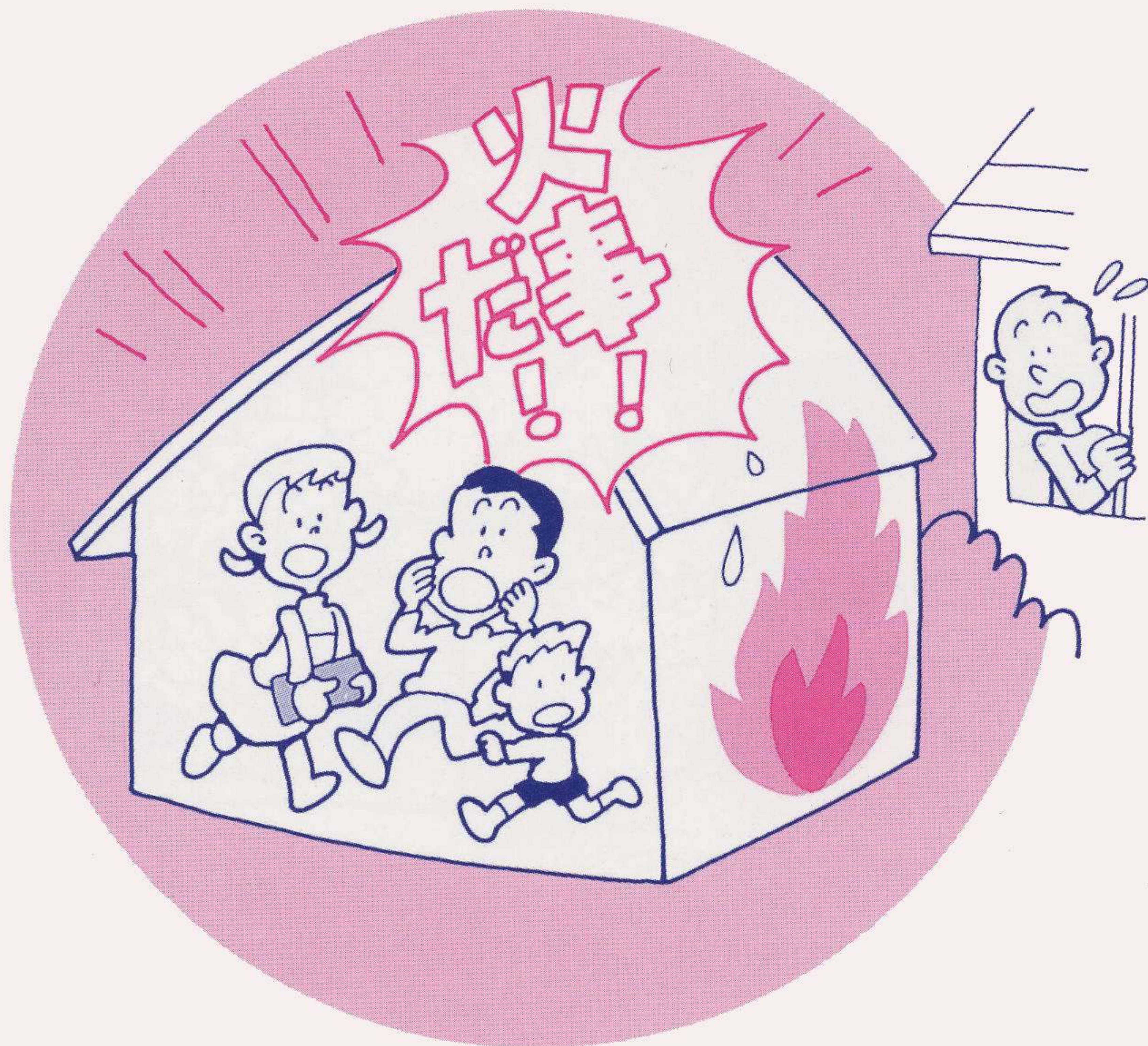


■家族の人はしているかな？ 火を消す用意

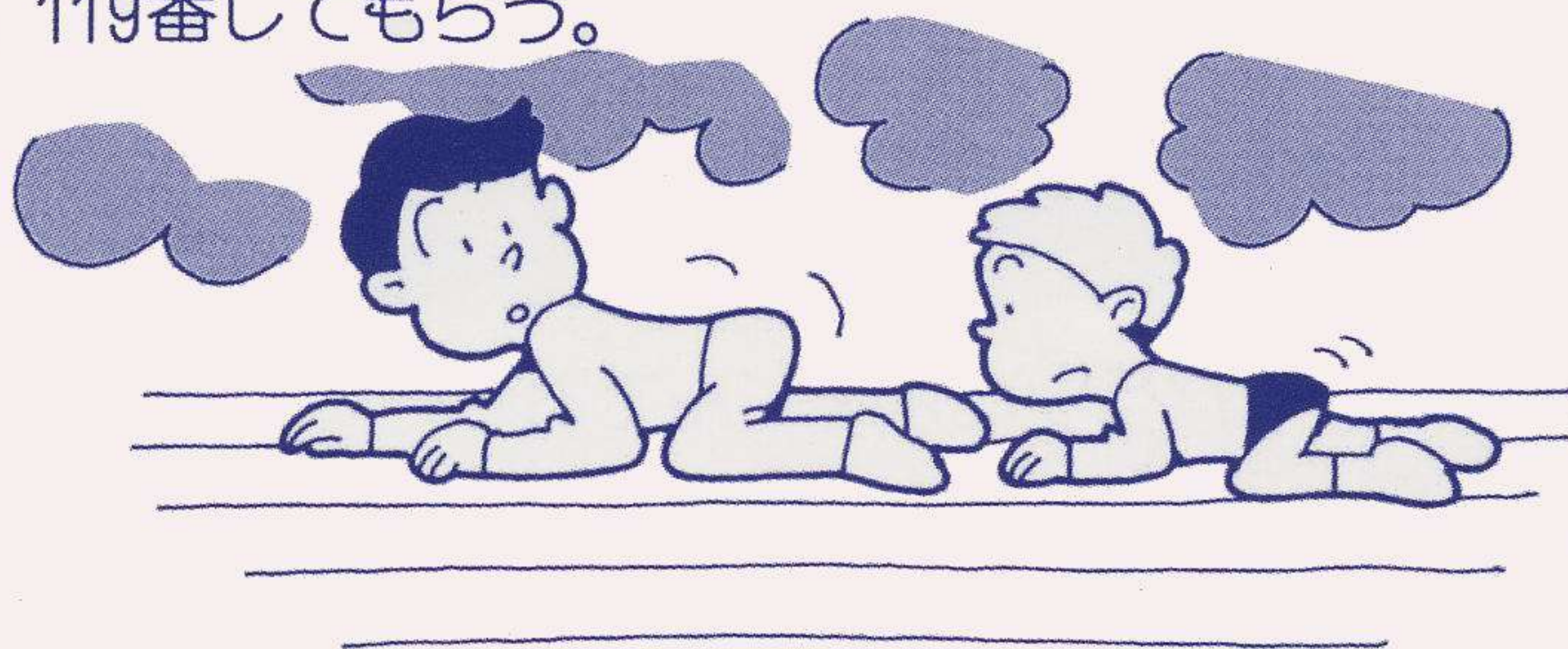
1. ^{しょうかき}消火器をおく。
2. おフコに水をはっておく。
3. バケツに水をくんでおく。



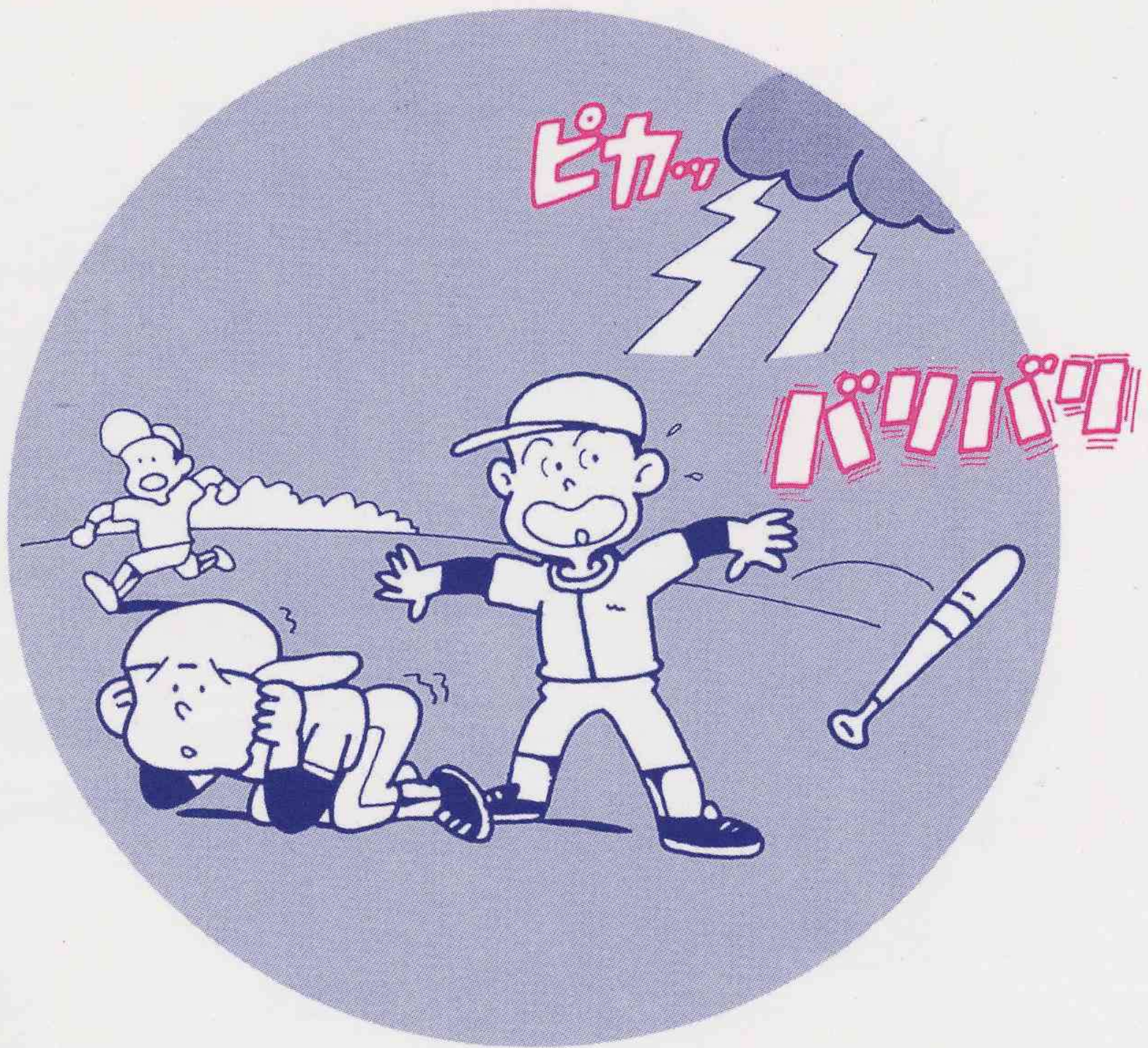
■もしも火事になったら…



1. 大声で火事だー!とさけんで、みんなに知らせる。
2. けむりをすわないように、ひくいしせいでにげる。
3. いったんにげたら、大切なものでも取りに引き返さない。
4. 近所の人に知らせ、119番してもらおう。



3. かみなり



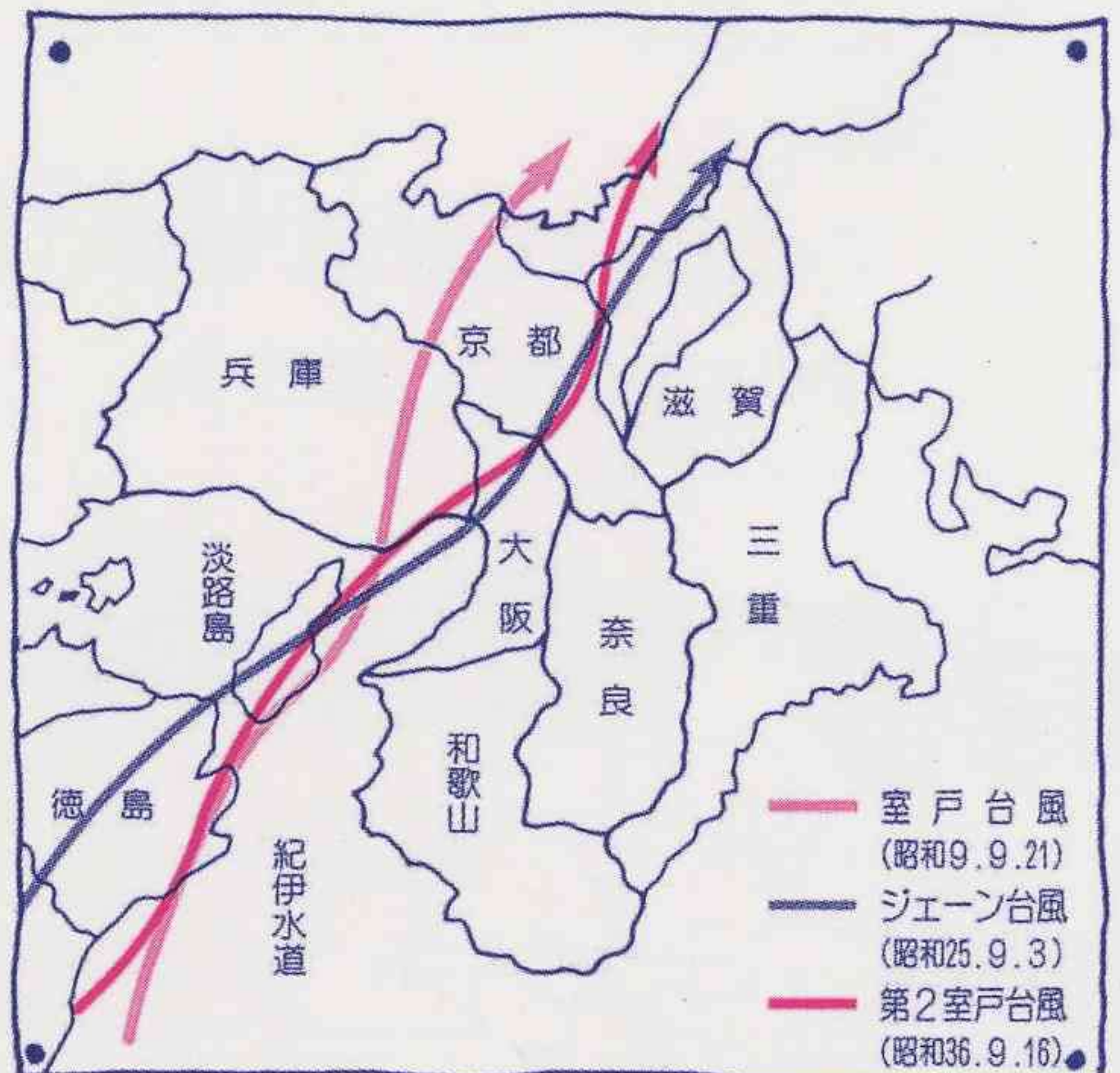
■外にいる時に、かみなりが、なりだしたら…

1. たて物の中に、にげよう。
2. 近くにたて物がない時は、金ぞくの物はずし、ひくいしせいになろう。
3. 大きな木に、近よらないようにしよう。

4. 台風

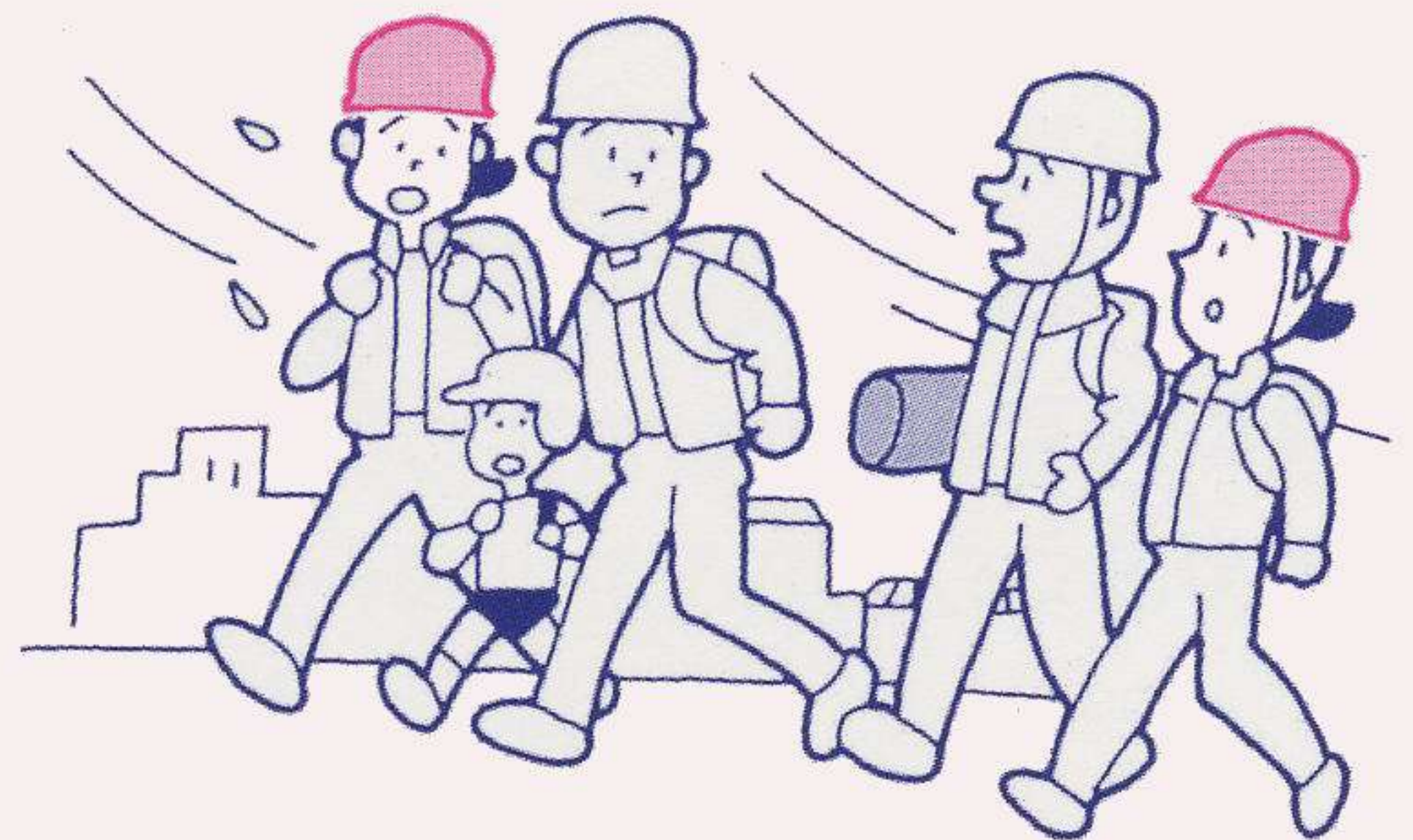
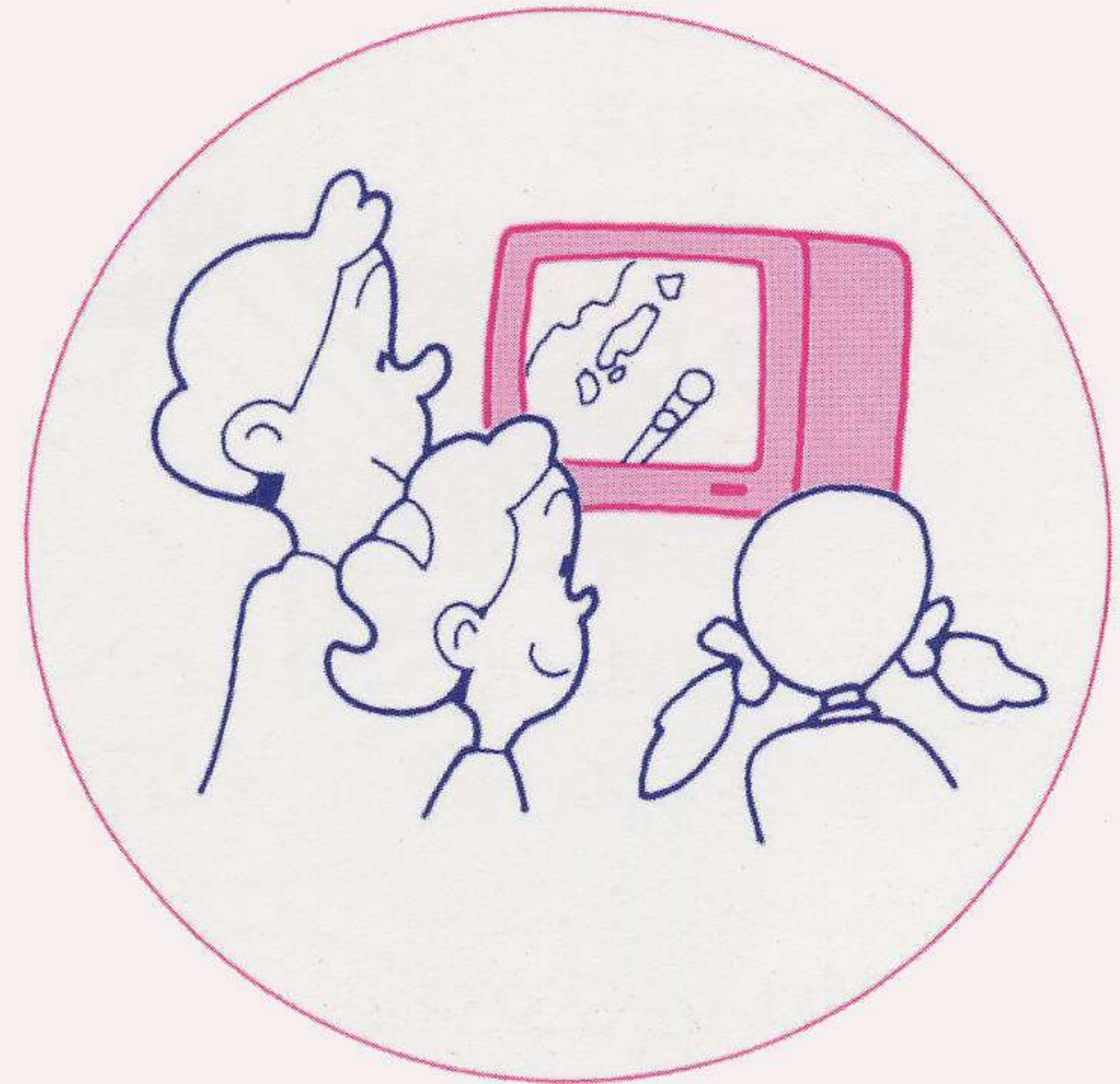
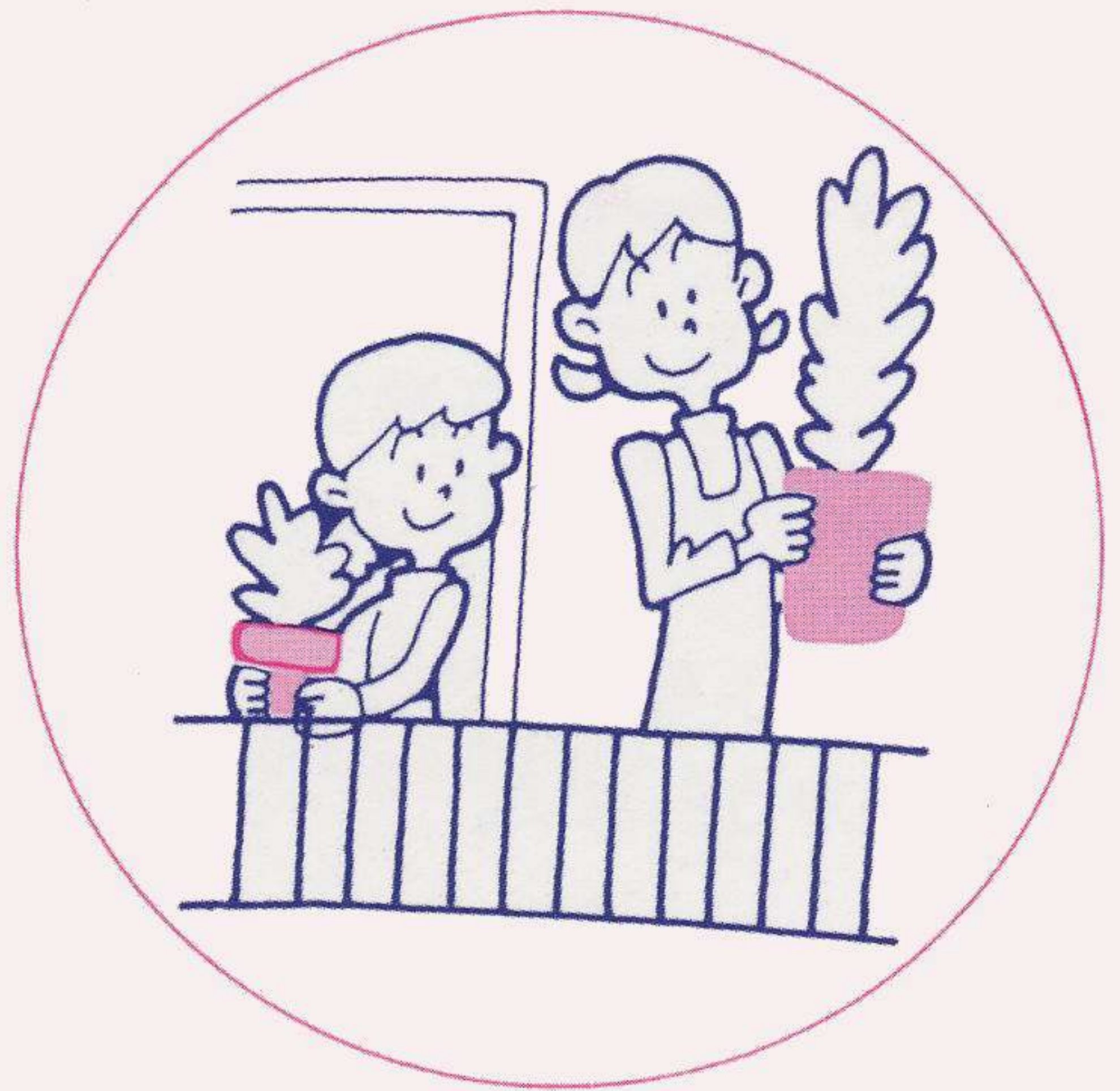


- 秋は、台風が多い季節きせつなので、注意しよう。
台風が近づくと、強い風がふき、大雨になる。
また、高潮たかしおなどにより大きなひがいになる事もある。



■台風が近づいてきたら…

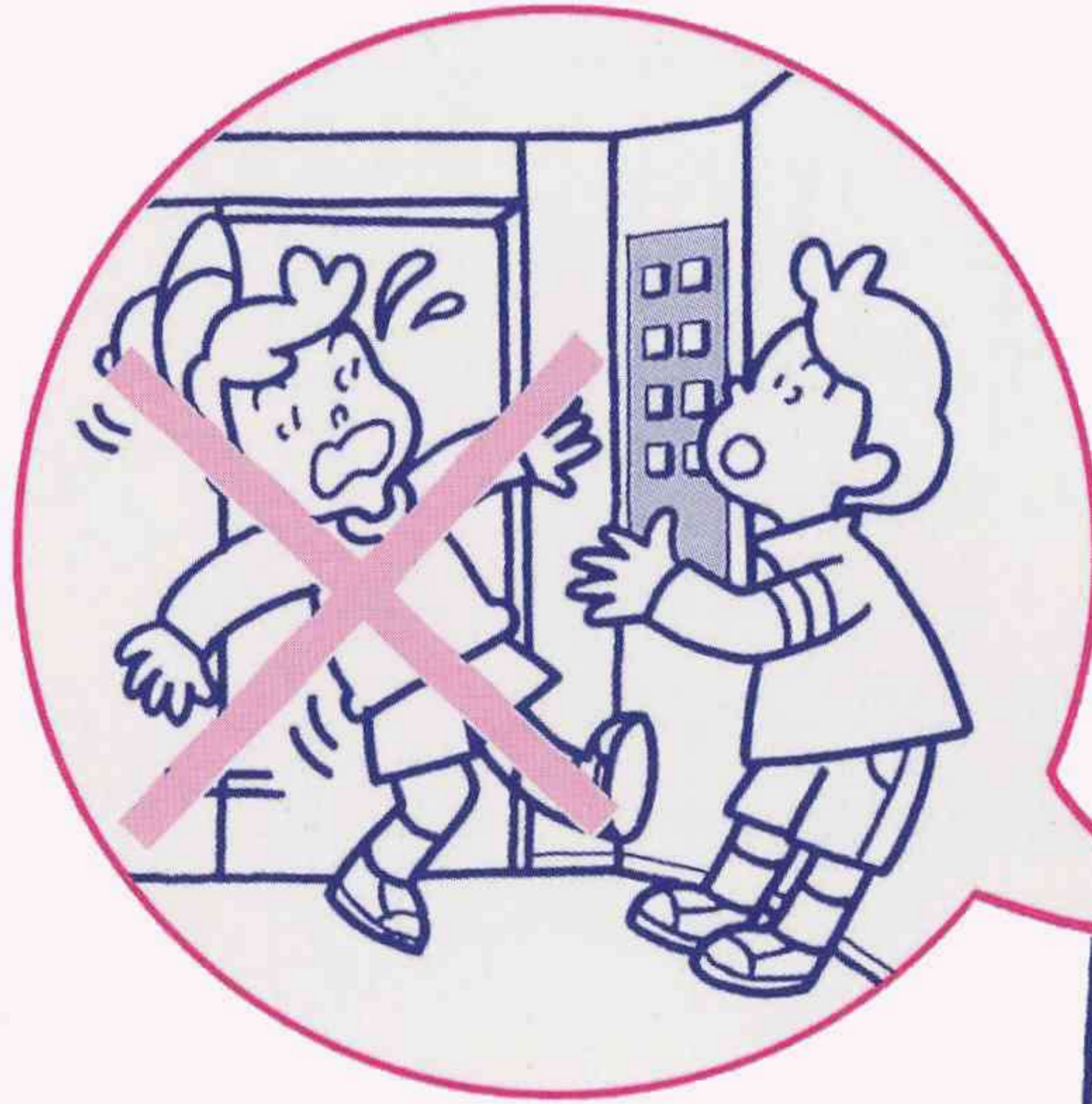
- ベランダなどにある落ちやすい物、家のまわりのとびちりやすい物をかたづけよう。
- まどガラスが割れないように、雨戸をしめよう。
- 水につからないよう、家具や電気器具を高い所へうつそう。
- 正しいニュースを聞き、台風が通りすぎるまで、外に出ないようにしよう。
- ひなんする時は、家族や近所の人たちと、いっしょに行動しよう。
- たれ下がった電線には、近づかないようにしよう。



5. エレベーター ふだんから みんなで 気をつけよう

- ドアに手をふれたり、寄りかからない。

ドアが開くときに手やうでを、引きこまれるきけんがあるので、気をつけよう。



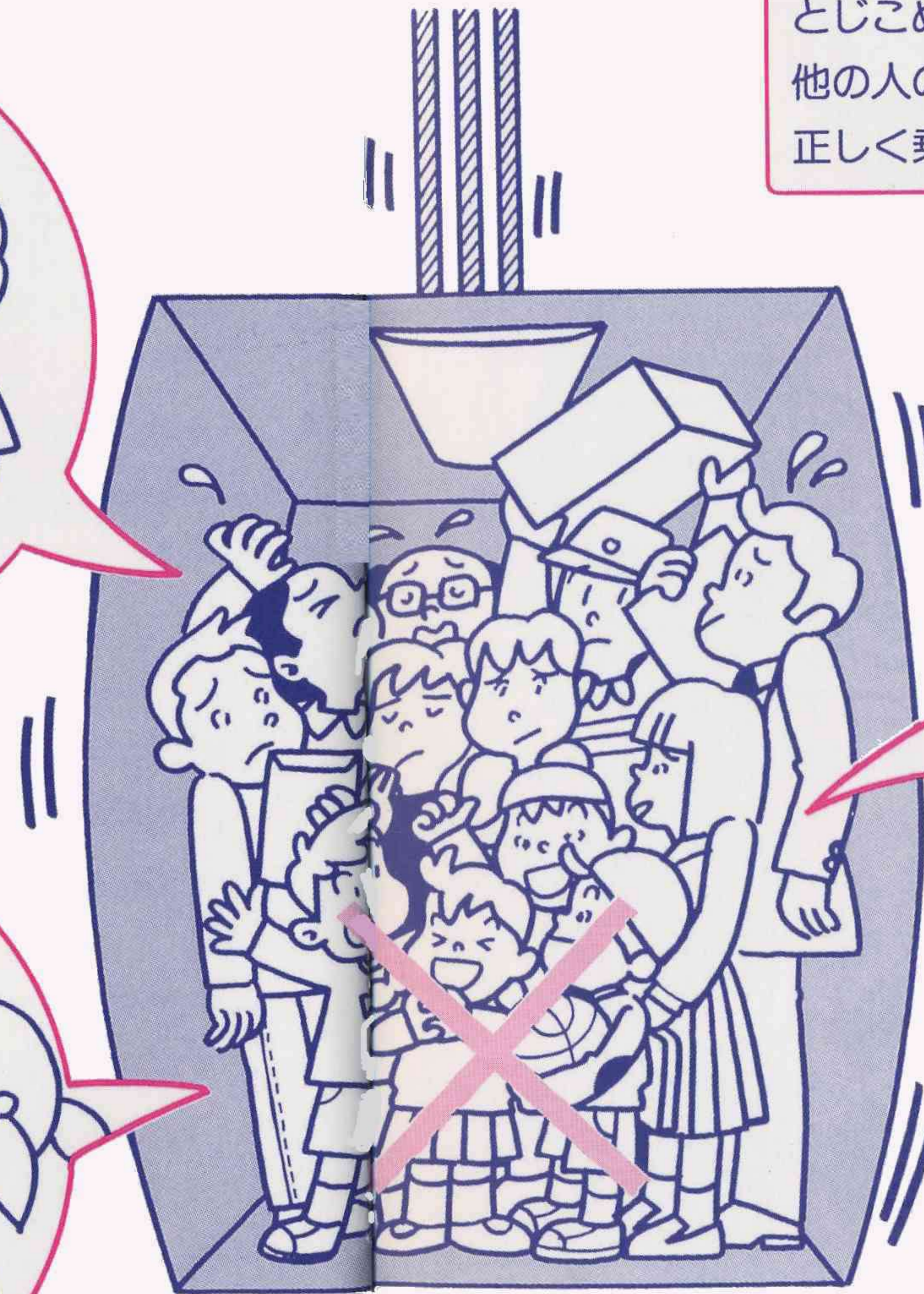
- 用のないボタンやスイッチにはさわらない。

エレベーターが止まったり、こわれる原因になるので、やめよう。



- 火事や地震じしんの時は、乗らない。

エレベーターは、べんりな乗り物ですが、正しく乗らないと、こわれたり、止まったりして、とじこめられることがあります。他の人のめいわくにもなるので、みんなで、正しく乗りましょう。



- 決められた定員ていいんより多く、無理むりに乗らない。

決まった人数より多く乗ると、動かなくなるので、定員ていいんを守ろう。



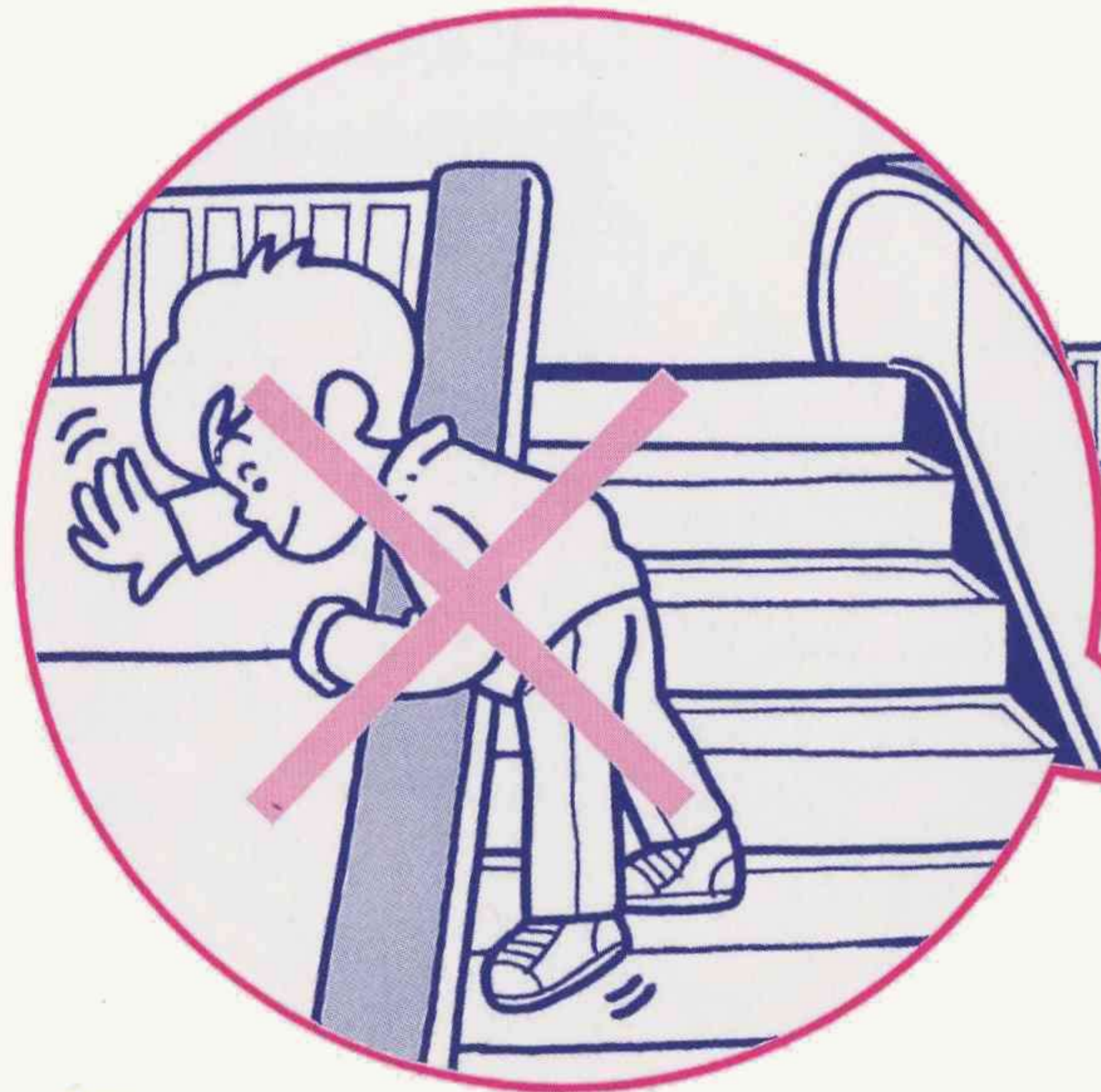
- エレベーターの中では、とんだり、はねたりしない。

ふざけて、とびあがったりするとエレベーターが止まる原因げんいんになるので、静しずかに乗ろう。

6. エスカレーター ふだんから きげんな乗り方は、やめよう

- 手すりの外へ
からだを乗りださない。

天井やかべに
頭をぶついたり、
はさまれたり、
落ちたりする
きけんがあるので、
やめよう。



- 動く方向と、逆^{さか}に乗ったり、走ったりしない。

たおれて、けがをしたり、
他の人のめいわくになるので、やめよう。

- 乗り口、降り口ふきんで遊ばない。

手や足や服^{ふく}をはさまれたり、
大けがをする きけんがあるので、
やめよう。



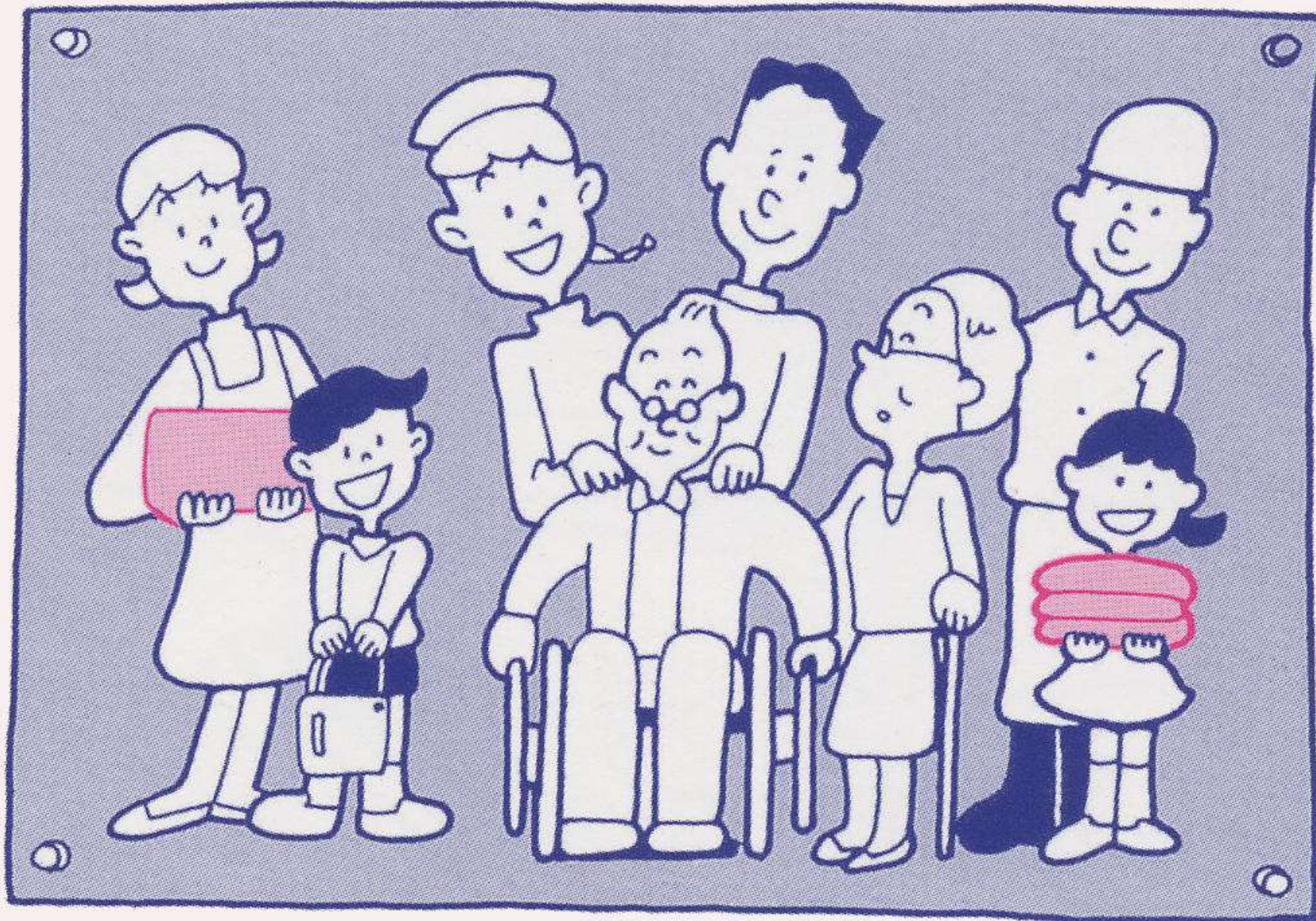
エスカレーターは、遊ぶところでは、ありません。
いたずらをしたり、ふざけたりしていると
大けがをします。
みんなで、注意して、正しく乗りましょう。



- 手すりに乗ったり、またがったりしない。

からだをはさまれたり、
落ちたりして大けがをする
きけんがあるので、やめよう。

家族みんなに、教えてあげよう



財団法人 大阪建築防災センター

〒540-0012 大阪府中央区谷町3-1-17 (トレンザビル3F)

TEL.06-6943-7253 FAX.06-6946-8373

年 組

なまえ ()